

放

エール大卒、元商社マン

米エール大卒、元商社マンという異色の経歴を持つ二つ目落語家・立川志の春(三七)が、仲間との三人会「谷中はなし処」など新境地に挑戦している。

大阪府豊中市に生まれ、小学三年から三年間、父の転勤で米国で暮らした。大学卒業後は三井物産で鉄鉱石部に勤務した。

転身は、二〇〇一年秋に東京・巣鴨で彼女とデート中、立川志の輔(六〇)の新作落語「はんどたおる」を聞いたのがきっかけ。夫婦が言い分を主張し合い、その感覚のずれが爆笑を誘う。

経歴を芸の肥やしに

東京大学名誉教授の月尾嘉男さんが北海道平取町二風谷地区を訪ね、アイヌ民族の伝統手工芸や建築技法を紹介しながら、日本社会へ提言を行う。

★BS朝日 後6・0
ザ・インタビュ
65歳のバレリーナ・森下洋子

んが迫る。バレエを始めたきっかけ、人生に影響を与えた2人の人物などについて語る。

ウィークリーニュースONZ
★BS11 後6・0
ゲストに大鶴義丹を迎える。昨年11月、大鶴が監督を務める映画「裸のいとこ」が公開され

したと語る。
トラベリックスⅢ
★BS日テレ 後7・0
欧州の小さな町や村を巡り、そこに息づく伝統や人々の素顔に触れる。山と湖に挟まれたオーストリアのハルシュタットを訪れ、町を散策する。また、お

★BSジャパン 後7・0
紺野まひるがオランダを旅する。首都アムステルダムでは、世界遺産の運河地区を水上タクシーで散策、風車の風景が広がるザンゼスカンスでは絶景に癒やされ、絶品のグルメ料理を堪能する。

シルシルミシル大調査絶品グルメに衝撃絶景観光グルメガイド本のアッってホントなの?現地に行って徹底検証
★朝日 後6・56
時間を拡大して、新企画「日本全国ドロンビ写ツアー」をおくる。旅行のガイドブック

立川志の春



「谷中はなし処」で熱演する落語家の立川志の春。東京都台東区谷中で

話が進むにつれ志の輔が消え、登場人物の姿が立ち上がってきた。背景にあるのは、人間のおかしみを愛するまなざし。

「嘸の中に哲学がある。やりたかったのはこれだ。」
会社を辞め、翌年秋、志の輔に入門した。

師匠には「一人を快適に

新作、英語落語で新境地

できないやつが多くのお客を楽しませられるか。俺を快適にしろ」と言われ、どこにいても三十分以内に駆けつけ、電話には必ず出た。芸の道はさらに険しく「こんな落語じゃねえ」「向いてねえ」と言われ続け、最初の一話の習得に半年かかった。五十話マスターという立川流の条件をクリアし前座から二つ目に昇進したのは、八年三月月後の一年一月。

目標は「師匠のように情景が浮かび上がってくる落語」。自分の思いを伝えたことから、日常のささいな疑問が新作のネタになる。一昨年のシンガポール公演を機に、英語落語も始めた。

「おまえという人間を紹介する意味はどこにある」と

厳しく叱咤してきた志の輔だが、「人に好かれる周波数を持った子」と認める。「滅私をして失った自分を、今度は落語家として作っていくとき。英語でやることで落語の『間』が分かり、日本語(の落語)の幅が広がる。他の誰にもできない『志の春語』を目指すってことだね」と志の輔。

あの時、一緒に落語を聞いた彼女は、現在、妻として支えてくれている。

林家たけ平、三遊亭萬橘と商店街の中に立ち上げた谷中はなし処(台東区谷中3の13の9)は、毎月二十五〜二十八日の四日間限定「寄席」。午後一時から。千五百円。志の春事務局 03・3712・3811。(原尚子)